
日本N I E学会会報 第9号

日本N I E学会事務局
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
国立大学法人横浜国立大学教育人間科学部
重松克也 研究室内
TEL/FAX 045-339-3433
E-mail ka-shige@ynu.ac.jp

日本N I E学会第5回大会のご案内（一次案内） と自由研究発表の募集

日本N I E学会会長 影山清四郎
第5回大会実行委員長 寺尾 慎一

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日本N I E学会第5回大会を以下の要領で開催することになりましたのでご案内申し上げます。多数の皆様のご参加と研究発表の申し込みをお待ちいたしております。
(大会二次案内は10月初旬発行予定の会報第10号でお知らせさせていただきます。)

1 大会テーマ 優れたN I E実践の理論化を目指して(2)
—N I Eにおける“活用”とは—

2 期 日 平成20年11月15日(土)～16日(日)

第1日目 11月15日(土)

11:30 12:00 13:00 15:00 15:15 17:00 17:15 18:15

受付	理事会 交流会	シンポジウム	休憩 交流会	課題研究 I	休憩 交流会	総会	移動	懇親会
----	------------	--------	-----------	--------	-----------	----	----	-----

第2日目 11月16日(日)

8:30 9:00 10:30 10:45 12:30

受付 交流会	自由研究発表	休憩 交流会	課題研究 II
-----------	--------	-----------	---------

3 会場

福岡教育大学 〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1
《 アクセスガイド 》 (<http://www.fukuoka-edu.ac.jp/~kokusaik/page/access/intro.htm>)

- ・福岡空港から JR 博多駅
＜福岡市営地下鉄＞ 福岡空港 _ 博多 (所要時間 5分ほど ¥250)
- ・JR 博多駅/JR 小倉駅から福岡教育大学
＜JR 鹿児島本線＞
JR 博多駅 (上り) _ JR 教育大前駅 (所要時間 37分 ¥630)
JR 小倉駅 (下り) _ JR 教育大前駅 (所要時間 35分 ¥630)
※JR 教育大前駅に快速は止まりません。準快速, 普通をご利用下さい。
【JR 教育大前駅より】 徒歩: 3分 (正門まで) / 10分 (会場まで)

4 参加費

- 大会 2000円 (学生・院生 1000円、一般参加 1000円)
懇親会 (第2 食堂フィオーレ) 事前予約 5000円 / 当日 6000円
(当日の対応は難しいために、この金額に設定させていただきますことを何卒ご了承下さい。)
昼食 (11/15 分のみ弁当とお茶) 1000円
※大学周辺の食堂等が十分ではありません。是非、昼食の事前申し込みをご利用下さい。「事前申し込み」は、第二次案内時に送付する「郵便振り込み」にて、下記宛にお願いいたします。(申し込み〆切: 10月31日厳守)

ゆうちょ銀行	口座番号	01730-9-84525
	口座名称	日本NIE学会第5回大会実行委員会
	(カナ氏名)	ニホンエヌアイイーカ ッカイト アイコ カイタイカイジ ッコウ

5 後援

福岡県教育委員会(予定)・宗像市教育委員会(予定)

6 プログラム

第1日 11月15日(土)

理事会 12:00-13:00

シンポジウム 13:00-15:00

テーマ 「NIE で“活用”の学力をどう高めるか」

コーディネータ 豊 啓 司 (福岡教育大学)

指定討論者 枝元 一三 (日本NIE学会コーディネーター)
(もう1名は、日本新聞教育財団に適任者の選定を依頼中)

シンポジスト 木村 宏之 (飯塚市立伊岐須小学校)

山田 明 (自由ヶ丘高等学校)

赤沢 早人 (奈良教育大学)

課題研究 I 15:15-17:00

テーマ 「日本型 NIE の理論化をめざして (3)

—典型的な実践事例の分析を通して—

コーディネータ	小原 友行 (広島大学大学院)
提案者：小学校の実践から	岸尾 祐二 (聖心女子学院初等科)
中学校の実践から	前野 勝彦 (高松市立光洋中学校)
高等学校の実践から	堤 隆一郎 (広島県立広高等学校)
実践事例の分析①	阪根 健二 (鳴門教育大学)
実践事例の分析②	木村 博一 (広島大学大学院)

総 会 17:15-17:45

第2日 11月16日(日)

自由研究発表 9:00-10:30

課題研究 II 10:45-12:30

テーマ 「教科教育におけるNIEの在り方

—NIEの教科カリキュラム化を図る—

コーディネータ	河野 智文 (福岡教育大学)
提案者	社会科： 角田 将士 (立命館大学)
	算 数： 田中 敬子 (宝塚市立すみれが丘小学校)
	理 科： 花村 孝次郎 (宮若市立若宮中学校)

7 自由研究発表の募集

自由研究発表の発表者を募集いたします。学会員はどなたでも応募できます。発表内容は、NIEに関するものであれば、実践報告や理論研究など、特に限定はありません。発表時間は30分(発表20分+質疑10分)を予定しています。

自由研究発表を希望される方は、下記様式の自由研究発表申し込み票にて、8月17日(日)までに、メールまたはファクスでお申し込みください。

日本NIE学会第5回大会 自由研究発表 申し込み票

発表テーマ	
氏名・所属・職名 ・連名の場合は代表者に○印を付けて下さい。	代表者連絡先 住所： 〒 TEL： e-mail：

委員会から

◆ 企画委員会より

企画委員会では、来年度の第6回大会を平成21年11月に東京都内で開催できるよう準備を進めております。来年度大会での企画等、ご意見がございましたら、企画委員会までお願いいたします。

また、企画委員会では、大会以外のイベント等、新しい企画も検討していく予定です。企画案等がございましたら、ぜひ企画委員会までご提案ください。

(企画委員長 谷田部玲生)

地区支部の活動

◎ 四国地区

平成20年6月14日(土)に、ルポール讃岐(香川県高松市)にて第7回日本NIE学会四国地区集会在開催されました。四国4県から、NIEに関心のある教師や研究者、学生約40名が集まり、新聞での教育方法などの検討を行いました。

今回は、現在の実践校の報告から、小学生にどう新聞を提示すべきかが論議となり、出席者の中から、掲載された“写真”などを活用する手法も提案されましたが、新聞に慣れ親しむために、ゲーム性などを取り入れた活動が重要という意見が大勢でした。「全国メディア接触・評価調査」(日本新聞協会2007年10月)において、新聞は「楽しい」「イメージがわからない」という項目で各メディアでは最下位であり、日常に浸透したメディアでありながら、活字という特性から、難解でありイメージがわきにくいという点をいかに克服するかが今後の課題となりました。

(鳴門教育大学 阪根健二)

会報ニュース

◆ 事務局からのお知らせ

1. 平成20年度の会費納入をお願いします。

正会員 5,000円

準会員(学生) 2,000円

2. 会員異動

(HP版では省略させていただきます。)

3. 学会と新聞教育文化財団との共同研究プロジェクト

学会と新聞教育文化財団との共同研究プロジェクトのようすについては、新聞教育文化財団のホームページ「NIEたより」に載せていますのでご覧ください。

文書スタイルは 40 字×40 行、文字は 10.5 ポイント程度。